

興南V20 攻守で底力

相手の「奇策」打ち破る

ハンドボール

(4日、豊見城市民体育館)

【男子】

▽決勝

興南 39(19-11)28 那覇西

【女子】

▽決勝

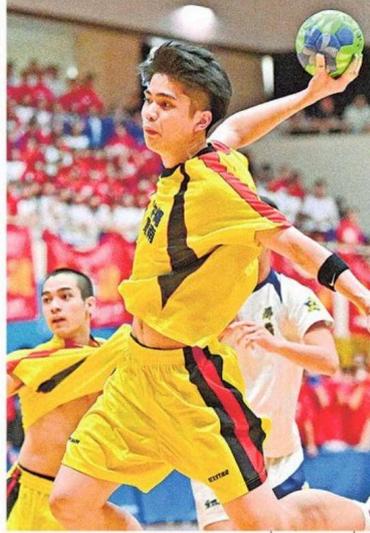
浦添 29(15-8)17 コザ

焦点

39-28の打ち合いを制した興南が20連覇を達成した。日本代表や日本リーグ選手を輩出してきた強豪は、相手の「奇策」に戸惑いながらも高い技術を発揮。攻守に上回る総合力で偉業を成し遂げた。

エースで主将の比嘉泉稀が開始直後からマンツーマンディフェンスを受けてチームは困惑。パス回しがおかしくなりミスが重なって早々に2失点した。比嘉は「仲間を信じた。シュートを打てと言った」と鼓舞し、GKを下げる7人攻撃で数的優位をつくると歯車がかみ合い始めた。

効果が薄いと相手がマンツーマンをやめると、勢いは加速。



5得点でU19日本代表強化合宿メンバーの赤嶺尚太郎は「序盤は焦っていたけど、主将が得点し始めると流れが良くなった」と19-11で折り返した。

後半はフェイント交じりのシュート技術やボールを追う執念を見せた王者が点差を広げて快勝した。最多8得点の大城虹雲は「連覇を続けることができよかった。大会期間中は眠れなかった」と、重圧から解放されてほっとしていた。

チームの目標は全国上位。赤嶺は「3月の選抜大会で敗れた北陸(福井)をまず倒したい。得点王と全国制覇を目指す」と鼻息は荒かった。(又吉健次)

男子決勝 興南-那覇西 後半、興南の大城虹雲が32点目のシュートを決める(喜屋武綾菜撮影)



男子優勝の興南



女子決勝 浦添-コザ 前半、浦添の又吉叶がシュートを放つ(喜屋武綾菜撮影)

浦添 4年ぶり制覇 堅守速攻さえる

「1本取って3秒で速攻」。応援団のコールそのままに、浦添は堅守からの逆襲がさえてコザに29-17で快勝。県総体決勝で2年連続で敗れた雪辱を果たし全国切符をつかんだ。

体を寄せて相手を外側に追いやり、弱いシュートを打たせるディフェンスが奏功した。GK仲西涼夏がシュートを止めてはサイドを駆け上がる選手ヘロングパス。この形で何度も相手GKとの1対1をつくって得点につなげた。

仲西は「みんなに助けられた。DFがプレッシャーをかけてくれた」と笑顔で話した。この日5得点した主将の又吉叶は「2年連続でコザに負けていたので、自分たちの代で勝たかった」と喜んだ。

6得点の金城彩佳は「けがで欠場したエースの野底桃伽と一緒に全国大会へ行こうと頑張った。3月の高校選抜では通用すると分かった守備を磨いて上位を目指す」と誓った。

(又吉健次)



女子優勝の浦添

紙面編集・宮城優